



広安里 第5号

発行 釜山日本人学校
釜山広域市水営区民樂路 19 番道 11
TEL 051-753-4166
FAX 051-756-4851
<http://user.chollian.net/~pusjpnsc>

挨拶

釜山日本人会会長 山中 義夫

今回は「挨拶」について寄稿させていただきます。

調べたところこの語源は仏教語の「一挨拶」, 挨拶は心を開くとか接近する, 挨拶はせまる, 近付くと言う意味で, 禅家で門下の僧に押し問答して, その悟りの深淺を試すことだそうです。

難しい話はここまでにして, 皆さん, 毎日きちんと行っていますか?

欧米人はハグや握手, 傍で見ていたら顔がポッと赤くなる様な韓国語でポッポ (俗に言うキス) をされますが, 東洋人はお辞儀や合掌が一般的ですね。

例えば, 朝起きて大きな声で「おはようございます!」を発すると, 何となく一日が楽しくなる様な気がします。お互い尊重し合うことで, 円満な人間関係が構築出来, 引いては社会や国の関係をも円滑に出来る魔法の様な言葉ですね。

私事で大変恐縮ですが, ことさら挨拶の重要さを認識したのは会社に入ってからで, 仕事柄外国人との接点と比較的多かったのも理由の 1 つかも知れません。お互い余り面識が無い状態で商談を始める際, 先ずは相手の目や顔を直視して相手の母国語で挨拶をすると, 緊張した雰囲気や商談の半分は成功した様な気分 (錯覚?) になります。(但し, 残り半分の努力は相当大変ですが) この様に挨拶には不思議な力が有る様な気がします。

中国で 5 年間工場勤務した際の経験ですが, 新規に取引を始める際は, 勿論先ずは財務諸表等々を見て経営状態を判断する訳ですが, やはり最後はその会社へ行かないと解らない部分が多々有ります。

私の判断基準は, ①掲示板の内容の正確さ②トイレの清潔さ③挨拶の実行状況でした。意外と当るものですよ。余談ですが, 私が赴任した山東省の青島では, 田舎に行くと, それこそトイレの下には水が流れている水洗式? ですが, 間仕切りが全く無く, 「隣は何をする人ぞ」と一目瞭然の大きなものも有りました。(勿論ちょっと紙を拝借と言う挨拶にも快く応じてくれました)

2006 年釜山へ赴任した際, 韓国人社員へ「朝夕の挨拶は必ず実行する様に!」が赴任挨拶の第一声でしたが, それ以来, 皆さん, 朝の「おはようございます」, 夕方の「失礼します」を実行してくれており, 実に気持ちが良いものです。また, ご来客の方々にも挨拶をする様になったので嬉しさもひとしおですね。

これ迄の会社人生のほとんどは営業担当でしたが, (皆さん信じないでしょうが) 入社した 2 年半は人事部に配属されました。当然新入社員の採用面接の席にも座らされましたが, 上司から「お前は絶対発言せず黙って置いて置け!」と厳命されじっと我慢しておりました。

その際上司から教わったのですが, 「先ずは部屋に入って来てきちんと挨拶が出来ない人は採用しない」と言うことでした。不思議なことに, 不採用者は見事男女共その様な人達でした。

釜山へ赴任した当初から韓国語の諺に興味があり日頃から独学しておりますが, (皆さんもご存知とは思いますが) 1 つご紹介したいと思います。

가는말이고와야 오는말이곱다.

(韓国語直訳) 行く言葉が綺麗でこそ, 来る言葉が綺麗

(日本語訳) 売り言葉に買い言葉

日頃何気なく使っている韓国語でも, 相手にとっては気分を損ねたりするものが有るのは, 皆さんもご経験がお有りだと思いますが, 私もそれなりに注意しております。

その点, 全く余計な神経を使わず思いっきり発せられる万能な言葉は, やはり挨拶だと思います。挨拶されて嫌な顔をされる方はまずいないと思いますが, 如何でしょうか?

但し, 例外も有る様ですので, これも 1 つご紹介しておきます。

私も仕事柄 (ほんとに仕事柄ですよ) 接待の機会が多いのですが, 午前様の時刻に帰宅し, 翌朝二日酔いで頭が痛いのを我慢 (隠) して家内へ「お早う!」と挨拶しても, 全く無視される挨拶も有りますのでご注意を!

クラスの窓 小学部 3 年生



小学部 3 年生の学級目標

小学部 3 年生は、4 月当初 5 人でのスタートでしたが、今は 3 名のクラスです。3 名しかいないので、寂しく過ごしているように思われるかもしれませんが、実は、学級の中は、いつも笑顔の絶えない元気で明るいクラスです。学級目標のように、いつも笑顔で、3 人力を合わせながら日々頑張っています。

小学部 3 年生の目指す生徒像

- 自ら課題を見つけ、学習した事項を活用し、表現することができる子ども
- 相手の気持ちを考えた言動を心がけ、主体的に関わり合う子ども
- 自分に合った目標を設定し、粘り強くものごとに取り組み、努力を継続できる子ども

そのために、学級では、こんな取り組みをしています。

習った漢字を使う …日記や作文を書く時に、習った漢字は使うようにしています。

今日のありがとう …毎日の帰りの会の中で、友達の良さを見つけ、発表し合っています。

毎月の目標設定 …月の初めに目標を決め、月末には振り返りをし、次の月の目標につなげています。

将来の夢

しょうらいのゆめは、サッカーせん手になることです。なぜかという、サッカーが好きだからです。そして、サッカーは楽しいし、とく意だからです。いつかワールドカップにでたいです。

しょうらいのゆめは、あざらし研究家になることです。なぜかという、私はあざらしが大好きなので、好きな動物のことなら、つらいことでもがんばれると思うからです。

しょうらいのゆめは、天文学者になることです。なぜかという、まだ発見されていない星や、今、人るいが住めるわく星を発見したいからです。そのためにも、えい語やローマ字もおぼえていきたいです。



夢

教諭 三浦 麻美

「先生の子どもの頃の夢は何でしたか？」

子どもたちによく聞かれる質問の一つである。キャリア教育として将来の夢について授業で取り上げ始める小学6年生に、特によく聞かれる。

自分が小学6年生に戻って、今の自分を見たらきっと驚くだろう。その頃、教師になるということは想像もしていなかったからだ。

教師になろうと考え始めたのは中学生になってからである。中学2年生までの私は、教室では静かに授業でも目立つことなく日々を過ごしていた。もちろん、担任の先生に注目されていると感じることはなかった。でも唯一、大好きなテニス部では、ありのままの自分を出して明るく楽しく活動していた。

教師に対する見方が変わったのは、中学3年生のときの担任の先生がおっしゃった言葉だった。

「三浦って、テニスやってる時、めちゃくちゃ楽しそうじゃん。教室でもその笑顔、たくさん見せていいんだよ。」

たったその一言だったが、「この先生は、私のことを見ている。教室でも、ありのままの自分でいいんだ。」と感動した。

それから、授業中にたくさん手を挙げて発表するなど、教室でも様々なことに意欲的に取り組み、毎日楽しく充実した日々を過ごすことができた。

その頃から、「担任の先生が子どもに与える影響って、すごく大きいのかも…」と漠然と考えるようになった。そうだとしたら、私も教師になって、たくさん子ども達の力になりたい。あの先生のように、子ども達の心を元気にするような教師になりたい。子ども達に「学校が楽しい」「自分はここにいていいんだ」「自分はみんなに必要とされている」と思ってもらいたい。そんな思いで、教師の道を選んだ。

ただ、教師となって数年経つ今でも不安になる。子ども達への気持ちとは裏腹に、辛い思いを感じさせているのではないかと。でも、子どもたちは優しく、素直で、明るく、いつも笑顔で、逆に子どもたちから元気や勇気をもたらしている。私を教師として育ててくれるのは、いつだって子どもたちだ。

「先生の仕事って大変じゃないですか？」

冒頭の質問のあとは必ずこれが続く。

確かに、教師という仕事は忙しく、多くのことをこなさなければならない。全てが上手くいくとも限らず、失敗して落ち込むこともある。でも子どもたちの笑顔があるからこそ、この仕事に楽しさとやりがいを感じている。

私が今ここにいられるのは、笑顔いっぱいの子どものたちがいること、協力してくださる先生方がいること、支えてくれる家族や友達がいること、そして中学3年の担任の先生と出会えたこと。どんな人であっても、今まで出会った全ての人々が今の私を作っているのだと思う。もし一人でも欠けていたり、違う人であったりしたら、私はここにいないだろう。きっとまったく違う仕事について、まったく違う人生を歩んでいたと思う。

子どもたちに伝えたいことがある。今まで出会った人たち、そしてこれから出会う人たちを大切に、大切に、してほしい。そして、自分の進むべき道を見つけて、自分を信じてその道を進んでほしい。

そんな子どもたちの背中を少しでも押してあげることができたら…。それが私の本望である。